



## イクボスアワード 2015 受賞者の紹介

(五十音順)

イクボスアワード 2015 グランプリ受賞

### 株式会社丸井グループ

株式会社丸井 取締役大宮店長 <sup>あべ</sup>阿部 <sup>かずみ</sup>和美 氏

- ◆ 全ての業務について「何を、いつまでに」を明確にしたうえで、部下に任せるマネジメントを実践するなど、部下の主体的な頑張りを引き出す
- ◆ 復職の不安解消と期待の表明を目的とした育休復職者との面談や、短時間勤務者も参加できる会議の時間設定など、部下の状況に配慮してきめ細やかに対応
- ◆ 自らの残業しない姿勢を見せることが風土づくりにつながるとし、定時退社を実践
- ◆ グループ横断の多様性推進委員会のリーダーとして、男性の育児休業取得を全社的に推進

(株式会社丸井グループの男性の育児休業取得率 H25 年度：14%⇒H26 年度：54%)

イクボスアワード 2015 グランプリ受賞

### ニフティ株式会社 WEB サービス事業部

### スマートデバイスサービス部

部長 <sup>はせがわ</sup>長谷川 <sup>こうじ</sup>晃司 氏

- ◆ 短時間勤務社員や在宅勤務社員を積極的に部内に受け入れ、当該社員だけでなく部全体に効率的な働き方を浸透
- ◆ 育児中の社員が多く在籍することが競争力の源泉であるにとらえ、働きながら子育てを行う視点から新たなスマホアプリを提供するなど、成果をあげている
- ◆ 「両立支援に理解のある管理職育成」を行い、部下から2名の女性管理職登用を実現。受賞者を手本に「イクボス」を目指すなど、イクボスの連鎖を創出
- ◆ 自らが育児短時間勤務制度を活用し積極的に子育てを行うとともに、地方在住の親を東京に呼び寄せる形で介護も開始し、「育児」「介護」と仕事の両立を実践

イクボスアワード 2015 グランプリ受賞

医療法人寿芳会 芳野病院

理事長・院長 よしの 芳野 はじめ 元 氏

- ◆ ワーク・ライフ・バランスの実践が難しい業種で、10年前から「子育て応援宣言」を発信し、職員の声を集めて両立支援制度を整備
- ◆ 経営者としてリーダーシップを発揮し、57種類の勤務シフトや、マニュアル整備による業務の標準化など、職員の多様性に対応しながら業務効率を上げる取組を推進
- ◆ 医療法人の理事長、病院の院長として実績を上げながら、定時退社を心がけている
- ◆ 男性職員に自ら育休取得を勧めるなど声かけし、実際に取得者を輩出

イクボスアワード 2015 特別奨励賞受賞

株式会社ダイエー 業態開発部

執行役員 部長 いとう 伊藤 ひでき 秀樹 氏

- ◆ 「やることを減らす」「やれることを増やす」を方針に、ルーティン業務の見直しやチーム制の導入などにより、業務効率を上げるための取組を推進
- ◆ 自身も育児休業を取得し、若手社員のロールモデルとして仕事と育児の両立を実践
- ◆ 育児経験から得た消費者視点を活かし、具体的なビジネスへつなげるなど、仕事でも高い成果を上げている

イクボスアワード 2015 特別奨励賞受賞

オイシックス株式会社 システム本部 システム部

部長 ふかわ 普川 たいすけ 泰如 氏

- ◆ 週1回、部下と個別面談を行い、仕事と家庭の状況を把握し、案件・業務の優先順位を明確に指示するなど、制約があっても成果を出せる環境づくりを推進
- ◆ 業務の見える化・標準化や会議の工夫、プロジェクト管理ツールの導入など、業務効率を上げる取組を実施
- ◆ 男性で初めての育児休業を取得。積極的に家事・育児に取り組み、仕事と両立させているほか、先輩パパ社員として部下へのアドバイスも実施